

総合評価結果報告書

施設の名称	駿府城公園「東御門・巽櫓、坤櫓、日本庭園及び茶室」		
課 名	歴史文化課		
指定管理者名	駿府城公園ランドマーク共同事業体		
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和7年5月30日（金）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 鈴木 桂（歴史文化課駿府城エリア活性化担当課長） ②委 員 加藤 理文（（公財）日本城郭協会理事） ③ “ 知久 昌樹（（特非）歴史と文化のまち静岡副理事長） ④ “ 望月 雅乃（文化政策課長） ⑤ “ 土屋 智裕（緑地政策課長）		
評価点 (各委員平均点)	88.6点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	施設の設置目的、当該施設の求められる役割及び運営方針を理解し、事業計画書や業務仕様書に基づいた適切な管理運営に努めている。 利用者満足度調査では、令和3年度から6年度まで施設の総合満足度が毎年95%以上と高水準を維持し、また、スタッフの接客などの項目も高い評価を受けており、利用者ニーズに沿った良好な施設運営がなされていたことがうかがえる。 事業については、地域交通拠点等で効果的な情報発信を行うなど、共同事業体の強みである広いネットワークを活かした多様なイベントを展開している。また、令和5年度に開館した静岡市歴史博物館をはじめとする周辺施設との協働によるイベントを開催し、駿府城公園エリアの賑わい創出に大いに貢献している。今後も、駿府城公園周辺エリアを盛り上げるべく、より一層周辺施設との連携を強化させ、利用者の獲得に努めてほしい。 また、利用者からの意見を反映し、季節限定や周辺施設と連携したお土産を開発・販売するなど、新規顧客獲得は元より、リピーター増加に向けた事業展開もしており、施設の課題に沿った取		

	り組みをする姿も見受けられた。 今後は、清水港来航客船等のインバウンドの取り込みや茶室を活用した事業に力を入れるとともに、利用者数の減少傾向が見受けられる東御門・巽櫓の利用者数増加に向けた新たな取り組みに期待したい。
--	--

総合評価結果総括表

施 設 の 名 称 [駿府城公園「東御門・巽櫓、坤櫓、日本庭園及び茶室」]

指定管理者名 [駿府城公園ランドマーク共同事業体]

課名 [歴史文化課]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平 均 点
1 履行状況の確認 【配点50点】						
(ア) 施設の設置目的・運営方針等を理解した運営が行われている。	8	10	8	9	9	8.8
(イ) 事業計画書等示された事業が予定どおり、円滑に実施されている。	8	8	8	9	7	8
(ウ) 施設の保守・管理・点検・清掃及び書類の作成、管理が適切に実施されている。	5	5	5	4	5	4.8
(エ) 適正な会計処理が行われている。	5	5	5	4	5	4.8
(オ) 収支状況において、概ね予算のとおり執行されている。	4	5	5	4	4	4.4
(カ) 利用者の個人情報の保護に努めている。	5	5	4	4	5	4.6
(キ) 事故時に迅速な対応がとれる危機管理体制が整備されている。	5	5	5	4	5	4.8
(ク) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置されている。	5	4	5	4	5	4.6
小 計	45	47	45	42	45	44.8
2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】						
(ア) 指定管理者の持つ経験やノウハウ、ネットワーク等を活かし、他機関と連携するなど、多彩な事業に積極的に取り組んでいる。	9	10	9	10	7	9
(イ) 市内外に積極的かつ効果的に情報発信が行われている。	4	5	4	4	4	4.2
小 計	13	15	13	14	11	13.2
3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】						
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けている。	7	10	9	9	10	9
(イ) 利用者の苦情等に速やかに対応し、施設の利便性や快適性を向上させている。	4	5	5	4	4	4.4
小 計	11	15	14	13	14	13.4

4 施設固有の評価項目						【配点20点】
(ア) 駿府城公園エリアの賑わいの創出に貢献している。	8	10	9	9	7	8.6
(イ) 静岡市の歴史、文化及び静岡茶等の各種産業のPRに貢献している。	9	10	7	9	8	8.6
小 計	17	20	16	18	15	17.2
合 計	86	97	88	87	85	88.6

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
・施設管理・運営の基本的事項について、適正に履行されている。 ・3施設単体での収支状況の改善（収入増）に引き続き取り組んでいくことを期待する。 ・令和5年度に開館した歴史博物館の分館として、歴史博物館や駿府公園内で行われるイベント、地域団体等との連携を今後もより一層期待する。 ・東御門・巽櫓の来館者数の増加に向けて、改善を図ってほしい。 ・利用者アンケートの満足度は高いが、アンケート調査の母数が100以下の施設もあり、少ないと感じる。 ・令和6年度に茶室の厨房改修を行っており、今後の新たな事業展開に期待する。 ・イベントの中には募集定員に満たないものもあり、常に内容の見直しや新事業を検討してほしい。 ・今後、インバウンドへの対応、茶室利用の拡大に力を入れてほしい。近年はお土産の開発に力を入れるなど、指定管理者の努力が見え、全体的に評価できる。
【B評価委員】
・給与等の問題もあると思うが、歴史専門の学芸員の常駐を検討したらどうか。難しい場合は、歴史文化課から、月何回か派遣し、櫓や門の案内等をするのもよいのではないかな。 ・共同事業体の良さを活かし、様々な連携を続けてほしい。 ・令和3年度から、95%以上の利用者満足度が続いているのは評価される。 ・様々なイベントを催したり、市内業者との繋がりで工夫したりしていて、駿府城公園エリアの賑わいや市内の歴史のPRに十分貢献している。 ・予算規模を考えれば、十分な施設運営がなされている。また市内の共同事業体として、関係企業を取り込み、工夫した運営をしている点は評価される。 ・全国的に見ても入場料については、施設（櫓や門、石垣等）の維持管理に使用するために値上げするケースが多くみられる。復元建築である点も含め、1施設500円程度（3施設1000円に割引）にしても問題はないと思う。
【C評価委員】
・限られた予算内で、共同事業体の良さを活かした活動をしている。今後の課題についても、しっかりと検討され、翌年に活かすということが続けられてきたのだと思う。さらに、独自性をもった企画を実施し、適格なPRを行うことで発展が見込めると思う。 ・長年実施している経験が活かされて、どんどん進化した管理展開がみられる。アイデアも新たな視点、時代とのマッチングも含めて、前向きな形になっている。情報発信ツールは、今後も新たな手法を取り入れていくことが重要だと思う。 ・継続的にアンケートで90%以上の満足度を確保しており、評価できる。今後は、利用者の種類（市民、ツアー客、客船インバウンド）ごとに、それぞれの対応ができるように工夫を進めてほしい。 ・駿府城公園エリアの賑わい創出はできているが、市内産業のPRへの貢献度合いは、もっと努力が必要かと思う。 ・概ねよくやっているといると思う。今後もさらに頑張って、伸ばしていただければ、という期待がもてる。

【D評価委員】

- ・仕様以上の事業を実施し、施設の特性を活かしたイベントで集客している。
- ・他機関・ボランティア団体等との連携を密にし、目的に合った講師を選定することで県外の利用者やリピーターの確保に取り組んでいる。
- ・事業においてリピーターが多いのは、満足度が高いことが分かる。指定管理者の創意工夫が活かされている。
- ・御城印の販売は、静岡市の歴史のPRに貢献している。現在も、新たなお土産を検討しているとのこと期待している。
- ・収益をあげる工夫がされていて、今後の商品開発にも期待している。
- ・多彩な自主事業等、周辺施設や関係団体、他の指定管理施設と連携して実施されており、指定管理者の創意工夫が活かされている。

【E評価委員】

- ・全体的に計画に基づいた施設管理ができていると思う。今後、施設利用者の増加に向けた新たな取り組みを望む。
- ・共同事業体の強みを活かして事業を実施している。今後、インバウンド観光としての茶室の積極的な利活用が必要だと思う。
- ・利用者の満足度が高いことは、とても評価できる。
- ・駿府城公園や施設の魅力を活かした事業を展開できていると思う。
- ・駿府城公園では、年間で多くのイベントが開催されているため、各種イベントとの連携により、利用者の増加に繋がると思う。

評価委員会としての意見

施設設置目的を意識した運営がなされ、基本的な履行状況は十分であると評価できる。
施設の特性を活かし多様な事業を展開ができている。これは指定管理者の経営努力によるものであるとともに、共同事業体の強みである市内業者との広いネットワークを活かしているからである。

利用者からの要望に応えるため、また経営を維持するため収益をあげるべく、お土産物の新商品を開発しており、創意工夫を凝らした運営体制がうかがえる。

今後、より一層、静岡市歴史博物館や駿府城公園内で開催されるイベントと連携を強化し、相乗効果を図ってほしい。また、改修した茶室の利用拡大やインバウンドへの対応にも注力することに期待する。